（別紙）

令和８年 12 月定例会議　一般質問

２番議員　吉田　敏郎

高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて問う

本町では、開成町第５期地域福祉計画において、誰もが住み慣れた地域で安心して、自分らしく暮らし続けられる社会の実現を目指している。

本町の令和７年の高齢化率は 26.8％と県西地区では最も低い水準にある一方、令和６年の要介護(要支援)認定者数は 819 人、認定率は 17.5％であり、いずれも増加傾向にある。高齢化に伴い、ゴミ出しや買い物、通院など日常生活への支援や移動手段の確保が課題となっている。

令和８年６月定例会議における私の一般質問に対し、町は、生活支援体制整備事業により自治会を中心とした支え合いの仕組み作りを進め、事業の一層の充実を図り、需要を見極めながら、効果的な施策を講じていくと答弁した。

こうした状況を踏まえ、高齢者等の日常生活を支える具体的な施策について、次の項目を問う。

１　行政課題別庁内ワーキンググループ「交通空白の解消・買い物支援検討ワーキンググループ」での検討の進捗状況は。
２　日常生活における買い物支援及びごみ出し支援について、現状の課題と今後の取り組みは。
３　高齢者が徒歩で買い物や外出をしやすいよう、歩道や公共施設周辺などに休憩用ベンチを設置する考えは。
４　今後の高齢者支援対策への町の考えは。